タミーノ役

秋本 靖仁

2022年3月のドン・ジョヴァンニ公演。コロナ禍でリモート中心で稽古が進み、やっと対面稽古が開始されしばらくすると息子がコロナ感染。濃厚接触者として本番1週間前まで稽古に参加できなくなった!神さまお願いです! どうか感染しませんように!! 試練の本公演デビューとなりました(笑)

角地 正直

ストレスな思い出は忘れるたちなので特に思い浮かびませんが、小学校の給食でトマトが丸まま出た時は昼休み中トマトと睨み合っていました。(種の柔らかい処が苦手だったのです)あれは試練でしたが、乗り越えた(最終的に食べた)かどうかは覚えてません。

パミーナ役

金岡 伶奈

「サルタン王の物語」で白鳥王女を演じた際の傾斜がついた回転舞台は試練でした。想像しながら稽古してましたが、いざ動く舞台に立ってみると登山をしながら歌っているようで… (笑)白鳥さながら表向きは優雅に、素敵な衣装の中は筋肉痛になるほど踏ん張って歌った“良い”思い出です!

奥田 敏子

困難もありましたが、恵まれて生きてきた方だと感じています。乗り越えた試練は経験となり、大変だった印象自体は薄れますから、今まさに直面している試練がいつも一番大きく感じているかもしれません。ということは、この先試練はますます大きくなるのでしょうか…。

パパゲーノ役

萩原 寛明

なかなか思うように歌えないというのもひとつの試練でしょうか…。神様は乗り越えられない試練はお与えにならないとよく聞きますが、どうなんでしょう…。とにかくひたすら練習あるのみですね。初役のパパゲーノが上手く歌えますように!

小玉 晃

「試練」についてコメントを求められ、人生を駆け足で振り返ってみたが思い当たるものがない。考えるうちに締切も過ぎてしまった。つまり「試練」と思うから「試練」になるのであって、ゲームだと思ったらそれはもうゲームになるのだ。自分が成長するゲーム。どんどん来たまえ!

パパゲーナ役

密山 宏美

ローマのホテルにて、夜8時頃、戸を叩くと同時に「一緒に飲まない?」等、見知らぬ方からお誘いがありました。丁重にお断り。その後も同じ様に何度かお誘いがあり、最後は寝たふりをしたのですが、ノブに触れる音が聞こえた時は怖く、異国での常識の違いを痛感した体験でした。

三村 浩美

今までの人生の中で、大きな試練は2つありました。どちらも乗り越えたとはいえず、日々の生活の中や節目節目で向き合い考え続けています。パパゲーナの試練は「一生懸命に気持ちを伝えようとしているのに伝わらない」だと思っています。パパゲーノに想いが届くまで伝え続けます!!

26日公演 より

社会的弱者の心の内面を 迫真の演唱で浮き彫りに

関西二期会　第95回オペラ公演「リゴレット」

性別の二元制に捉われない、「第三の性」に対する取り組みが世界的に推し進められている今日。本公演「リゴレット」は、そういった多様な性を映すが如く、様々なカップルたちで賑わう仮面舞踏会のシーンに始まった。この幕開けの後に露わになってゆく「リゴレット」の本質―― 16世紀北イタリアのマントヴァ宮廷を舞台とした男社会を巡る絶望的な悲劇――が、何と重く胸に圧し掛かってきたことか。

指揮を担ったのは若手の鈴木恵里奈。関西フィルハーモニー管弦楽団から清新かつ極めてドラマティックな表現を引き出し、舞台に絶妙な色合いを与えた。そして、演出は気鋭の太田麻衣子。その太田の演出で一際目を引いたのは、舞台装置として設えられたマントヴァ公爵夫妻の対のベッドと、巨大な額縁だ。そのベッドの上では公爵の不貞が行われ、額縁に至っては最終幕で潰えるなど、このオペラが辿るカタストロフィーを暗示するかのよう。更に太田は、本来舞台には登場しないマントヴァ公爵夫人を黙役（白石優子）として登場させ、好色三昧の公爵に対する悲憤などを視覚的にあらわすことで、このオペラの奥底に流れる社会的弱者としての心の内面を丁寧に掬い上げてみせた。

27日公演 より

この斬新な太田の演出を音楽面で見事なまでに肉付けしたのは、何と言ってもリゴレット役の細川勝だろう。宮仕えの道化という社会的弱者にして、その屈折した内面性や愛娘ジルダへの庇護愛を迫真の演唱で浮き彫りにした。マントヴァ公爵の不貞の愛の対象たるジルダ役の松浦優も、社会的弱者としての側面を担いつつ、うぶな可憐さから意志の強さを表すに至る人間的成長をその歌唱に巧みに織り込んだ。マントヴァ公爵を演じた根木滋は、官能的な男の色気より、美しい女性に目がない若き権力者の奔放さを前面に押し出していたのが印象的だった。このマントヴァ公爵が生き生きとした存在感を放つほど、リゴレットやジルダといった社会的弱者が翳りゆくという暗鬱さ。世の定めたる弱肉強食のリアリズムが、まるでパンドラの箱から這い出してきたかのように生々しく舞台に横たわっていた。

（11月27日所見：村田英也）

（写真：早川壽雄）

26日公演 より

2022年11月26日（土）、27日（日）
メイシアター
吹田市文化会館大ホール

指　揮：鈴木 恵里奈
演　出：太田 麻衣子
管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団

関西二期会　第94回オペラ公演

「第31回イタリア歌曲の流れ イタリアの風景 Vol. 5 ～躍動～」

若手もヴェテランも 持ち味を発揮
オペラ歌手らしく 自らを劇的に演出

写真：早川壽雄

毎年恒例の「イタリア歌曲の流れ」シリーズも、はや30年を越えた。コロナ禍いまだ明けやらず、何事においても遠慮がちに振る舞わねばならない時だからこそ、「躍動」の二文字が特別な意味をもって心に響く。せめて芸術の場だけでも屈託を排して自らを自由に表現したい、そんな願いを胸に、明るく伸びやかなイタリアの風景にも思いを馳せつつ、14人の声楽家たちがこの日のステージに立った。

さすがにイタリア歌曲の表現の振幅は大きい。オペラの一場面を小さな舞台に移し替えたような曲もあれば、静かに心情を吐露する曲もある。そして大ホールに響くような歌唱もあれば、ほとんどモノローグのような歌唱もある。若手もヴェテランもみなそれぞれに自分の持ち味を存分に発揮し、オペラ歌手らしく自らを劇的に演出している。なるほどこうした地道な表現活動が、本格的なオペラ公演に繋がっているのだろう。オペラの舞台に立つとき、この歌手にはいったいどんな演目のどの役柄が似合うのだろうか、と想像してみるのも楽しい。そして最後には、客席を手拍子の渦に巻き込んで賑やかに終演する。本場イタリアの酒場には、もしかしたら本当にこうした陽気なのど自慢たちが常駐しているのかもしれない、そう思わせるほどに躍動感に満ちた楽しいひとときだった。

歌手を支えるピアニストの腕にもいつもながら感嘆させられる。あるときはぴたりと歌手に寄り添い、あるときは全く独自の動きを見せて、歌手との共同作業で見事なステージを作り上げる。確かなサポートを得て、当夜の声楽家たちもさぞ心強かったことだろう。

来年は果たして誰がどのように見事な歌唱が聴かせてくれるのであろうか、心地よい余韻とともにそんな期待と希望を抱いた一夜の宴であった。　（北川順一）

2022年10月14日（金）
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：大坂まり絵 / 岡山真理子 / 小倉篤子 / 小澤聖子 / 苅田夏子 / 桐山由香 / 鈴木さやか / 髙木華奈 / 千代崎元昭 / 中川令子 / 西口浩二 / 村上彩子 / 山本欽也 / 吉武貴子
ピアノ：蜷川千佳 / 須山由梨
公演監督：斉藤言子

谷やんの企画・制作デイリーライフ

⑮タイムズスクエアのお正月

お正月は、いかがお過ごしでしたか。未来を見据え、一年の構想や計画を考えた方も多いのではないでしょうか。

9年前の2014年1月、梅田のザ・フェニックスホールに勤めていた私はニューヨークに旅しました。同ホールは室内楽施設です。アメリカの、室内楽に携わる人々の仕事ぶりに触れるチャンスがあると聞き、現場を見ようと思い立ったのでした。

当時、音楽事業の企画・制作に携わって10年が過ぎ、とにもかくにも一通りマネジメントの仕事に慣れた頃。京阪神をはじめ関西一円、首都圏や中京圏など他地域のホールやオーケストラ、関西二期会のようなオペラ団体など、ご同業の方々との接点も増え、楽しかった。幾つかの学校で教える機会にも恵まれ、海外の事情に関し、勉強を重ねてもいました。

一方で、日本の業界に浸かっている自分は、「今のままで良いのか」という思いがありました。より多くの人々に音楽に親しんでもらうための、新しい考え方に触れたかったんです。

あの国には、「CHAMBER MUSIC AMERICA（CMA）」という組織があります。1977年創設の、室内楽振興のための非営利組織。関係者の能力開発や人脈拡大、活動資金獲得などに資する事業を手掛けています。その年次総会が1月、この町で開かれる。

場所はブロードウェイミュージカルの聖地、タイムズスクエアのホテル。ワンフロアを4日間、借り切り様々なプログラムが行なわれていました。参加は演奏家や作曲家、興行主や鑑賞団体、マネジャー、教育者など多彩。地元だけでなく、カリフォルニアやアラスカなど全米各地から300人は集まっていました。出席者に名刺を出すと「Oh !Pheonix! 君はアリゾナからか?」と冗談を飛ばされたものです（フェニックスは、アリゾナ州の州都と同名）。

午前中は主にセミナー。既にSNSを使った顧客つくりや広報、音楽以外の芸術分野と協働する事業企画、スラム街での音楽を通した社会貢献活動などの報告が行なわれていました。窓から見える摩天楼は大雪で霞んでいましたが、音楽を盛り立てていこうとする参加者一人ひとりの熱気に会場は誠にHotでした。

ニューヨークのタイムズスクエア。訪れたのは真冬でしたが、町の活気は実にHotでした（写真：Luis Dalvan）

CMAはクラシックの室内楽作品だけでなく、ジャズや世界各地の民俗音楽なども室内楽として位置付けています。午後の「ショーケース」プログラムでは、弦楽四重奏からボーカルアンサンブル、ジャズやユダヤ人音楽家の「クレズマー音楽」のデモ演奏が続きます。30分限定の一発勝負。プロを観衆に、額に汗滲む舞台ばかりでした。

夕方からは食事会があちこちで開かれる。参加者が、演奏の品定めをしながら事業プランを練ります。それがそのまま、アーティストたちの翌シーズンの全米ツアーになっていく仕組み。無名の若手を育てる気風も感じられました。

会場には、アーティストや演奏組織の営業を司る音楽事務所のブースが並び、メッセさながら。マネジャーたちの巧みな営業トークと、パンフレットやCD、DVD、ネットを通じた売り込みが、和やかな中にも熾烈に続けられるのでした。

研修会＋ワークショップ＋見本市＋宴会から成る、複合的な催しには、あの国らしい機敏さ、たくましさ、快活さ、ユーモア、そして音楽分野以外の分野（例えば社会問題、テクノロジー、多様性の尊重など）への関心が感じられました。

今季の総会では、障害者向けの音楽事業企画なども論じられていました。社会の動向を見つめつつ結束し、多様な関係者が英知を集め、音楽を盛んにする。音楽関係者の、こんな営みを、日本でも持てれば素晴らしいですね。

（谷本 裕　沖縄県立芸術大学教授、関西二期会顧問）

賛助会員ご芳名

特別会員ご芳名

上野製薬株式会社

法人会員ご芳名

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社淺沼組
荒川化学工業株式会社
稲畑産業株式会社
株式会社エフエム大阪
株式会社大阪共立
大阪シティ信用金庫
学校法人大阪成蹊学園
公益財団法人オリックス宮内財団
京セラ株式会社
倉敷紡績株式会社
鴻池運輸株式会社
学校法人神戸女学院
コーナン建設株式会社
サラヤ株式会社
サントリーホールディングス株式会社
三宝電機株式会社
株式会社滋慶
住友電気工業株式会社
ダイキン工業株式会社
大日本除虫菊株式会社
タカラベルモント株式会社
株式会社竹中工務店
株式会社テクノーブル
東京衣裳株式会社
医療法人二村耳鼻咽喉科ボイスクリニック
株式会社ハートス
阪急電鉄株式会社
富士有限会社
株式会社丸善
ミズノ株式会社
株式会社美々卯
学校法人武庫川女子大学音楽学部
森下仁丹株式会社
株式会社モリタ
ロイヤルステージ株式会社　（他、匿名１社）

個人会員ご芳名

我孫子　昌三　　江崎　正道　　小谷　公穂　　杉野　守彦　　藤堂　稔之　　林　律　　山口　眞子
石塚　克哉　　遠藤　秀夫　　小八木　規之　　辰野　勇　　中村　雅夫　　早嶋　茂
伊藤　勲　　門屋　淳子　　佐野　吉彦　　田中　昭子　　西田　俊夫　　樋口　信治
岩佐　益男　　蔵田　由美子　　佐守　友博　　田中　義雄　　仁禮　直之　　藤友　俊雄

（令和４年 12 月末現在 敬称略）

公益社団法人関西二期会賛助会　入会へのお誘い

関西二期会は、オペラを中心とした音楽活動及び真摯な芸術活動を通じ、
社会に夢や潤いを与え続けます。関西二期会の活動にご賛同いただける皆様に、
法人・個人を問わず、賛助会員としてご入会下さいますよう何卒お願い申し上げます。

入会のご案内

資格	本会の趣旨に賛同し、規定の会費（ご寄付）を拠出いただける方で、法人・個人を問いません。
特典	①「公演プログラム」および「Kansai Nikikai Opera」にご芳名を記載 ②広報誌「Kansai Nikikai Opera」を無料送付 ③賛助会員（法人・個人）様の記念行事などへのミニオペラやコンサートの企画・実施・ご相談、およびオペラ・舞台芸術などに関する講師の斡旋
年会費	法人会員　１口10万円　ただし原則として2口以上 個人会員　１口5万円
ご入会方法	所定の入会申込書※にご記入の上、公益社団法人関西二期会までお送り下さい。 追って、弊会から請求書をお送りいたします。
お振込み先	三菱UFJ銀行 大阪営業部 （普）0187011　公益社団法人関西二期会
税法上の優遇措置	公益社団法人関西二期会が発行する領収書により、税法上の優遇措置が受けられます。

※「関西二期会」でホームページを検索していただき、「ご支援のお願い」→「賛助会員へのお誘い」→「ご入会方法」からお手続きをお願い申し上げます。

受賞のお知らせ

副理事長
斉藤言子

令和4年度 兵庫県文化賞を受賞。
これまでに、関西オペラ界のプリマドンナとして国内外の数多くの舞台で観客を魅了するとともに、
関西二期会副理事長等を務め、多くの優秀な音楽家を輩出し、音楽振興に尽くしたことが評価された。

新入会員の紹介

小林 瑠那 *Kobayashi Runa*（ソプラノ準会員）

神戸山手女子高等学校声楽専攻、神戸女学院大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学オータムコンサートに出演。第30回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール奨励賞。これまでに秋山文代、斉藤言子の各氏に師事。

櫻本 麻衣 *Sakuramoto Mai*（ソプラノ準会員）

大阪府立夕陽丘高校音楽科、神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学オータムコンサートほか、ミュージカルや朗読劇等の舞台にも出演。恩知理加、斉藤言子の各氏に師事。宝塚演奏家連盟、神戸オペラカンパニー各会員。

保坂 江利子 *Hosaka Eriko*（ソプラノ準会員）

国立音楽大学声楽学科卒業。佐藤峰子、マリア・カヴァッツァ、柾木和敬、慶児道代、佐々木英代、松井るみ、藤村匡人、木村善明の各氏に師事。第10回東京国際声楽コンクール歌曲部門地区大会優秀賞受賞、本選入選。

山下 優子 *Yamashita Yuko*（ソプラノ準会員）

神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了。同大学オータムコンサート、新人演奏会、奈良県新人演奏会、同大学院修了披露演奏会等に出演。これまでに故武内亜季、松本薫平、古田昌子の各氏に師事。

スケジュール 2023

◆2023年1月現在
（主催公演、当会が後援する公演）

1 January

15日（日）14:00
2022グランドオペラフェスティバル in Japan
関西二期会公演『ドン・ジョヴァンニ』
新宿文化センター 大ホール
出演：萩原寛明 / 萩原泰介 / 木澤佐江子 / 秋本靖仁 / 佐竹しのぶ / 萬田一樹
谷本尚隆 / 岩本実奈子
指揮：瀬山智博　演出：髙岸未朝

2 February

12日（日）15:00
Oratio Concepti Vol.1
今福音楽堂
出演：清水愛子 / 山田千尋 / 南出真美 / しまふく羊太 / 山﨑 覚 / 大西信太郎
梵智惇声

25日（土）16:00、26日（日）14:00
第96回オペラ公演　歌劇『魔笛』
兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール
出演［25日］片桐直樹 / 米田哲二 / 秋本靖仁 / 金岡伶奈 / 萩原寛明 / 密山宏美
四方典子 / 泉 貴子 / 田中智子 / 大垣加代子 / 藤田大輔 / 山本伸子
丸山紗佳 /味岡真紀子 / 西垣俊朗 / 服部英生 / 西口佳宏 / 山咲 響
［26日］武久竜也 / 西尾岳史 / 角地正直 / 奥田敏子 / 小玉 晃 / 三村浩美
松浦 優 /白石優子/ 西村 薫 / 井上美和 / 八百川敏幸 / 井上結衣
矢代あすみ / 安井裕子 / 馬場清孝 / 萩原泰介 / 西口佳宏 / 嶌田優介
指揮：Ken Yanagisawa（柳澤 謙）　演出：髙岸未朝
公演監督：小餅谷哲男

3 March

20日（月）19:00
周防彩子ソプラノ・リサイタル
兵庫県民会館 けんみんホール
出演：周防彩子

4 April

5日（水）18:30
神田裕史テノールリサイタル
神戸市立東灘区文化センター
出演：神田麻帆 / 神田裕史

8日（土）19:00
VIVA VOCE!（ヴィーヴァ・ヴォーチェ）
ハーモニーホールふくい 小ホール
出演：東 園

23日（日）11:00 / 14:00
0歳から楽しめる♪ムジカーリッシュ! コンサート01
京都府立府民ホール アルティ
出演：山下まりえ / 山中雅博

5 May

16日（火）、17日（水）各19:00又は18:30
第20回サロンオペラ『ジュリオ・チェーザレ』
あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール
指揮：袖岡浩平　ステージング：奥野浩子
公演監督：斉藤言子

7 July

14日（金）19:00
新進演奏家育成プロジェクト リサイタルシリーズOSAKA
藤田碧 ソプラノリサイタル
住友生命いずみホール
出演：藤田 碧

8 August　10 October

一次審査8月11日（金・祝）・12日（土）・19日（土）・20日（日）
二次審査10月7日（土）・8日（日）
最終審査10月9日（月・祝）
日本トスティ歌曲コンクール 2023
秋篠音楽堂
東京オペラシティ リサイタルホール（8月11日、12日のみ）

11 November

25日（土）16:00、26日（日）14:00
第97回オペラ公演　歌劇『カルメン』
吹田市文化会館メイシアター大ホール
出演［25日］糀谷栄里子 / 小餅谷哲男 / 中西千尋 / 西尾岳史 / 山咲 響 / 片桐直樹
野々村瞳 / 岸畑真由子 / 中野嘉章 / しまふく羊太
［26日］十合翔子（客演）/ 水口健次 / 奥田敏子 / 谷本尚隆 / 鳥山浩詩 / 武久竜也
田村香絵子 / 名島嘉津栄 / 萩原泰介 / 山本欽也
指揮：グイード・マリア・グイーダ　演出：三浦安浩
公演監督：米田哲二

KANSAI NIKIKAI OPERA
発行：公益社団法人 関西二期会 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-3-11 内本町グリーンビル601 TEL.06-6360-4649 E-mail. info@kansai-nikikai.com
編集長：金子真由　責任者：広報担当副理事長 斉藤言子
企画・制作：(株)サンワイズ・コミュニケーション